

令和2年度「インバウンドの呼び込み」に係る取組について



～農村の振興と活性化に向けて～

九州農政局佐賀県拠点

新型コロナウイルス収束後における佐賀県の農泊、農村振興を迅速かつ適切に推進するため、県内でのアンケート調査、農泊推進関係者や外国人留学生等との意見交換を実施し、その結果を以下のとおり、取りまとめました。

1 取組の概要

(1) アンケート調査の実施(8月～12月)

対象者：佐賀大学外国人留学生及び佐賀県内居住者

テーマ：「佐賀県内の農業と農村での余暇に関するアンケート」

(2) 意見交換

①佐賀県内の農泊推進関係者と意見交換を実施(9月～10月)

②佐賀大学外国人留学生(6名)との意見交換会を開催(12月)

テーマ：「外国人から見た佐賀県の農・食・暮らし」



「佐賀大学外国人留学生との意見交換会」出席者
※前列の6名が佐賀大学外国人留学生

2 取組結果

(1) アンケート調査結果：別添「佐賀県内の農業と農村での余暇に関するアンケート結果」のとおり

佐賀県内居住者の回答率は低かったが留学生の回答率が高かったものは、①農林水産物や料理などを購入する時に重視するものとして「価格」や「外観」、②目的地に行く時に重視するものとして「交通の利便性」や「費用」、③佐賀県の農業や農村に期待するものとして、「心地良さ・癒し」や「体験の場・機会」、「多様な生物の生息」などであった。

(2) 佐賀大学外国人留学生との意見交換会で出された主な意見等

- ・宣伝材料として、世界的に知名度のある各地域の風物詩や人気のアニメ等を活用すると効果的。
- ・観光PRの動画は映像に合わせて、外国人が理解しやすいテロップ等を入れると効果的。
- ・農村を訪問するための交通面の不便さを解消する必要がある。
- ・主要な駅界隈などに地元の農産物やお土産を購入できるお店をもっと増やす。
- ・ポジショニング（顧客に商品がどのように魅力的であるかを認知させること）が重要。